



## 表紙は語る

### 式根島に「日の出町」が やって来た！

5月21日、日の出町から東町長、平野議長、議員他16名が、新島、式根島に来島しました。式根島の滞在は3時間。慌ただしく昼食を終え、まずは江戸時代に流入船の風待港だった泊海水浴場を上から展望。「うわあ、きれいだね」と、皆さん居ても立ってもいられず砂浜に降り、ひととき砂と戯れていました。浜からは息を切らして上り、晴れやかな笑顔で記念撮影。次は神引展望台から島々を一望し、美しい風景に「すごい！」と感嘆の声も。

そして地鉦温泉。「下りてみよう」の声で下に向かい、湧き出す温泉の湯に触れ、岩を飛び越え、しばし島の名所を満喫。帰りは息も絶え絶え階段を上り、皆さん汗だくでした。最後に養殖場へ。記念にイカダ乗りを体験し、「落ちるなよ、揺らすなよ!!」と恐々でした。

小さな島のたくさんの方々の魅力を満喫してもらえたでしょうか。またゆっくり来島のお機会があることを願っています。

〈写真・議会事務局 文綾 亨〉

# 一般質問



おお ぬま ゆ み こ  
大沼 由美子 議員

一問一答方式

新島観光協会  
解散後の状況と  
今後の見通し

**問** 令和4年6月の新島観光協会の突然の解散から早や3年が過ぎようとしている。当時、早急な再建が期待されていたにも関わらず、今も新島の基幹産業の一つである観光業を包括する組織の立ち上げの気配は無い。新島には観光協会は不要では？ ともとれる状況に対する村長の考えは。

**答** 新島には観光協会は必要でないとは考えていない。どの観光地にも組織の形態は違えど観光振興の核となる団体は必要であり存在する。しかしながら、本来、観光協会とは地域の観光業者自らが必要とされる組織であるべきで、村としては今後関係者の方々と更に協議検討を進めていく。

**問** 新島観光協会解散後、村主導で「地域おこし協力隊」による「新島村観光案内所」が運営されているが、任期3年間の期限が迫り、残り約1年間と聞いている。「地域おこし協力隊」撤退後の「新島村観光案内所」の存続や、その後の対策はどうなるのか。

**答** 新島において観光の振興を担う団体や組織等が立ち上がるまで、引き続き「地域おこし協力隊」に

よる観光案内所の運営を継続していきたい。

**問** 行政指導による新島村の観光業を総括する団体や組織の立ち上げが必要ではないか。

**答** 自然発生的にこれら団体ができるまで待つのではなく、行政として積極的に関わりながら、より良い組織の立ち上げに繋がるよう取り組みを進めていく。

background

インターネットで「観光協会・解散」と検索すると、「新島観光協会」とヒットし、情けなくも丁寧に「会員総意による」とある。いまだ覆水盆に返らずだが、恥ずべき失敗を教訓に、島民からも信頼される団体や組織の早急な立ち上げを切望するばかりである。

そんななか、怪我の功名とも言えるが「地域おこし協力隊」による「新島村

観光案内所」が行政と連動し、実に順調に運営されている。多くの志願者の中から選ばれた優秀な隊員の方々の仕事ぶりは心から信頼に値する。可能なら彼らに新島の観光を牽引していく組織の立ち上げをお願いしたいものだが、そのためには新島の観光従事者が今一度一丸となり、新島の観光振興について真剣に討議し方向性を合意することが先決であろう。



▲地域おこし協力隊が支える新島村観光案内所

一般質問



こくぼりか 小久保 利佳 議員



離島留学を継続

していくためには？

一問一答方式

**問** 来年度の留学生の受け入れと、ホストファミリー

の募集応募状況は？ 都立新島高校で、令和5年度から受け入れを開始した離島留学は、今年度はホストファミリーが見つからず受け入れられなかった。今後も離島留学を継続的にしていくためには何が必要か？

**答** 現在ホストファミリーの応募がなく、引き続き広

報等で募集を続けていくが、困難な状況。寮を導入することで安定した住環境を提供し、学生同士の交流を促進、島のコミュニティとの結びつきを深め、孤独感の軽減も期待される。しかし設置する際には、長期的な視点での管理運営が必要。建築費に加え運営費やメンテナンス経費の計画、学生の安全と健康を守るためのスタッフ配置、特に緊急時の対応策を含む体制の確立が求められる。

**問** 現時点でホストファミリーの金銭的支援と募集を

強化し、留学生受け入れのための不安を軽減することが必要ではないか？ ホストファミリーへのヒアリング、留学生受け入れのルールづくりも重要。ホストファミリー任せにするのではなく、地域で支える仕組みづくりを準備していくこと

が先決ではないか。

**答** 金銭面については東京都に要望を伝えて、今年度から実施している。各家庭に担当が家庭訪問し都度ヒアリングもしている。

**問** 神津島や島留学をして

いる自治体のノウハウの導入も。広島県加計高校は射撃部のため寮を整備し、射撃に没頭できる環境をつくった結果、受験倍率が県内トップとなった。新島高校も太鼓部が地域芸能を担っており、同様の可能性が見込める。人口が減らないような創意工夫として、留学生受け入れが未来への投資になる。村の重要課題と位置付けてほしい。



機構改革に女性

職員の意見は反映されているか？

一問一答方式

**問** 行政内の機構改革の概要決定に、女性職員の意見

も入っているか？ 女性の感性や発想を政策立案のプロセスに活かし、意思決定の場に女性を増やしていくことが、組織としての意識や働き方の変革をもたらすと思うが。

**答** 女性職員の意見も十分に反映されている。性別に限らず、年齢、年代別の発想や意見等も重要である。

それぞれ違った視点や発想、所属や立場の人々の意見を踏まえ、議論し取り入れることで、より良いものができると考えている。



▲広島県加計高校の留学生が生活するのは、安芸太田町人材育成センター黎明館。居住機能、学習支援機能を持つだけでなく、地域交流、国際交流活動が可能な交流スペースを備えた複合施設で、厨房では寮生の食事をつくる他、平日は高齢者向け配食サービスも行っている。

## 一般質問



あやと 綾 議員



一問一答方式

会計年度任用職員  
私傷病休暇（病欠）  
が7月から有給に！

**問** 有給にする休暇や取得  
日数は？

**答** 国の非常勤職員と同等  
の休暇を考えている。有給  
の病欠休暇は勤務時間に応  
じ年10日以内。早急に対応  
し、令和7年7月1日実施  
の予定だ。

**問** 会計年度職員にも勤勉  
手当の支給を。



一問一答方式

義務教育無償化の  
範囲拡大を！

**答** 支給するよう準備を進  
めている。規則等を準備  
し、来年度支給予定だ。

**問** 「義務教育はこれを無  
償とする」（憲法26条）。昨  
年から給食費が無償化され  
喜ばれている。子育て支援  
を強め、副教材費など範囲  
を拡大すべきだ。

**答** 保護者負担の軽減は課  
題と認識している。財源を  
含め国が主体的に責任を負  
うべきと考える。



一問一答方式

「全員入所」を  
支える保育体制を！

**問** 1〜5歳児全員入所で  
きた。それに対応した保育  
士等の充足状況は？

**答** 島内外での募集などさ  
まざま取り組んできた。入  
職辞退もあり、充足してい  
ない。

**問** 引き続き総力を挙げた  
取り組みを求める。

**答** 今回初めて派遣保育士  
を採用した。正規採用も視  
野に対応する。施設の増築  
は、令和8年度中に完了を  
目指す。



一問一答方式

加齢性難聴者の  
検査拡大を！

**問** 検査を受け耳の状態を  
知ることが第一歩だ。検査  
を無償にするなど検査拡大  
を求める。

**答** 2件申請で2件交付決  
定している。広報・掲示な  
ど周知していく。



一問一答方式

家屋解体時の廃棄  
物処理の負担軽減を！

**問** 老朽化し、倒壊の危険  
がある家屋の除却整備は安全  
な環境、景観維持、防犯上重  
要だ。島外搬出、産廃処理だ  
と住民負担が倍増する。

**答** 住民負担の低減を含め  
前向きに検討を進める。



一問一答方式

式根島の主要村道  
の改修を！

**問** 拡幅等の早期の改修を  
求める。

**答** 令和7年度、どのよう  
な道路にするかの検討と、  
土地所有者の意向調査を第  
一に進める。

**問** 緊急に、式根島小学校  
付近の舗装改修を！



一問一答方式

医療保険「資格確  
認書」全員交付を

**答** 早急な整備を考えてい  
る。

**問** 有効期限が、国保は9  
月30日、後期高齢者は7月  
31日。どのように準備して  
いるか。

**答** 国保は9月22日から、  
後期高齢者は7月22日から、  
役場・各支所で交付する。



▲神引処分場の遠景。  
処分方法や負担のあり方など幅広い議論を

一般質問



よし み かず ゆき  
吉見 一之 議員

式根島キャンプ場の再開は？

一問一答方式

**問** 近年、新島・式根島の宿泊キャパシティは300〜500人程度と言われており、このままでは今後の観光業の発展に大きな足枷となる。そのため宿泊キャパシティの底上げを図るためにも、現在閉鎖している式根島キャンプ場の再開等を検討してはどうか？

**答** 東京都の施設である

式根島の大浦キャンプ場については、令和2年3月からコロナ禍の影響を受けて閉鎖し、その後、再稼働の話があり受付・巡回・日常清掃等を引き受けてくれる人を募集したが、応募が無く現在に至っている。また東京都の見解では、長期にわたる閉鎖期間により、施設の改修等が必要になるうえ、山側が土砂災害特別警戒区域となっており、現状での再開は困難とのことである。

**問** 当地は、とても景観がよく施設も素晴らしい場所であるので、ロープを張って立ち入り禁止にしておくのはもったいないと感じる。キャンプ場の再開ができなければ、違う施設として再利用の可能性は無いのか？

**答** 去年12月に汽船会社からジェットフォイルのダイヤ変更の通知があり、内容としては船員の労働時間の上限超過について、運輸局から改善命令が出ていることや、コロナ禍以降も厳しい経営状態が続いていることを踏まえ、繁忙期のダイヤに影響が出

**答** 関連施設の改修や後背地の整備等も含め東京都と協議し、観光協会をはじめ関連事業者の意見を聞きながら進めていきたい。

旅客船の減便に対する当村の対応は？

一問一答方式

**問** 旅客船のダイヤ変更を受け、観光シーズンの客足等に大きな影響が見込まれると思うが、村としてその理由や今後の見通しをお聞きしたい。

る見込みとのことであった。具体的には、上り便について昨年はあった午前中の東京行きが減便となり、実質1便の減便となる。

**問** 大型船の減便も相まって、ジェットフォイルや飛行機の満席状態が長期に渡っており「来島しなくてもできない」という声が非常に多く聞かれる。また、貨物について

**答** 今後も東京都や他島と連携しながら、安定的な航路確保について協議を続けていく。

も停滞が頻発している。島の住民にとって生命線である船便は少なからず東京都等の支援によって運行されていると思うし、新島だけの問題ではないことなので、他島とも連携してより良い方向に舵を切ってもらいたい。



▲閉鎖中の大浦キャンプ場

## 一般質問



とみ た ひろ あき  
富田 浩章 議員



建設課所管施設の  
定期点検を！

一問一答方式

**問** 建設課は街灯やカーブミラー、また公園など多くの施設を所管している。職員数も少ないなかではあるが、定期的に点検を実施してほしい。また、防災無線で周知し、住民の皆さんにも協力を求めているどうか。

**答** 街灯については、月1回、夜間に巡回点検を行っている。また、カーブミラーや公園の点検について

では、他の現場に出る時に見回りをしている。住民の方には防災無線や自治会などを通じて、情報をお寄せいただくなどの対応も考えていく。



新島（式根島）

中学校にマリンスポーツ部の創設に理解を！

一問一答方式

**問** サーフィンだけではなく、水泳はもちろんのことライフセービングなど、島という特性を生かし、中学校にマリンスポーツ部の創設を切望する。部活動が教師の負担となっているなか、最近の部活動は地域が運営していくという「地域移行」に移りつつある。もちろん、当事者である生徒・保護者の理解を得ることが不可欠ではあるが、この「地域移行」を活用した創設に理解を。

**答** 生徒に新たな挑戦の場

を提供し、島の特性を最大限に活かした地域社会との繋がりを深める機会を生むものとして、大変意義深い取り組みである。また、「地域移行」を活用した取り組みは、有意義な解決策となり得る。

一方で、実現するにあたり、生徒・保護者の皆さまをはじめ、地域の方々の深いご理解とご協力が不可欠であるため、十分な協議を重ねながら、検討していきたいと考えている。



サーフィンアイランドの復活を！2

一問一答方式

**問** 個人的な考えだが、波が立たなくなったのは羽伏浦漁港建設も要因の一つだと思っている。また、西側にはマリナー堤があるが、かつては素晴らしい波が立っていた。いつ完成するのか、どのよう

か、どのようにマリナーの運営をしていくのか不明なままである。建設業は村の基幹産業であるので、例えば、東側は「奥磯から堀切まで延長する浸食防止工事」に、西側は「必ず接岸できる新島港の整備」に全力を注ぐなど、港湾計画の抜本的な見直しを行うべきでは。

**答** いくつかの現場におい

では先が見えない、完了しない工事となっている。工事の見直しについては、受益者の関係や工事種別もあり、予算を一概に移行するというわけにはいかない。しかし、優先的に取り組んでいたきたい整備などについては、これまでも増して東京都と協議を進め、必要に応じて共に国に対しても要望していく。



▲マリナー堤着工前のB堤ポイント

一般質問



まえ だ かつ とし  
前田 勝利 議員



防災・減災対策  
夜間防災訓練は？

一括質問方式

問

毎年実施される防災訓練は、大規模地震による津波からいち早く避難する訓練となっており、住民の生命を守ることを第一としている。

東南海地震による当村の津波被害想定で、人的被害が大きいのは夜間に発生した場合である。今後、夕方から夜にかけての夜間防災訓練の実施について、どうお考えなの

か村長の見解を求める。

答

災害はいつ発生するかわからないため、夜間訓練の必要性は感じている。しかし、多くの住民を夜間に行動させることに危険は伴わないのか、安全対策に万全を期すことができるかなど不安が残る。都内でも300人前後の規模で実施している実例もあるので、当村においても地域ごとに町会単位などでの訓練を検討する。



防災・減災対策  
水道設備や水道管の  
破損、耐震化率は？

一括質問方式

問

防災機能や安全性の向上、良好な景観の創出のため無電柱化事業を進めており、災害時における電力供給の確保に大きな期待を寄せている。大

規模災害時における電力の確保は重要だが、水の確保も重要。地震災害が発生したとき水道設備や水道管の破損、耐震化率はどの程度か、老朽管の更新について村長の見解を求める。

答

管路の耐震化率は25%、施設については若郷浄水場のみ耐震化施設となっている。若郷浄水場については地震計が設置されており、大きな地震が発生した場合は、2つある70タンクのうち1つが配水を停止するので、一定量の水が確保できる。

管路、その他の施設については、老朽化は進んでいるが耐用年数は残っており、今年度実施する経営戦略策定業務のなかで、今後大規模更新をすることを考慮したうえで戦略を策定し、更新計画

を決定する予定となっている。管路の耐震化率100%を目指しながら、他の配水池の耐震化も進め、災害時の水の確保に努めていく。

(参照…令和4年度末時点の全国水道施設耐震化の状況は、管路42・3%、浄水施設43・4%、配水池63・5%となっている。)



▲耐震化された若郷浄水施設

6月

## 議会定例会 補正予算等

### 専決処分

### 補正予算

#### ○条例改正

概要…国の定める条例改正に基づき、専決処分とした。

主な内容…電動バイクなどの普及により、原動機付自転車は現行の50cc以下から125cc以下、4.0キロワット以下となる。(質問は無かった)

#### ○消費税修正申告

概要…水道事業会計において1月の税務調査結果により、消費税の修正申告が約189万円不足があり、延滞の発生を抑えるため議会決議を待たずに専決処分とした。

**問** 今後の状況で補正もあるのか？  
**答** ありうる。

#### ○式根島下水道事業の業務委託請負契約

概要…令和7・8年度の式根島下水道整備工事に係る業務委託として5億3876万3500円の計上があった。

**問** 工法や工事の中身が工金額に対して適切か？  
**答** この工事には推進工法が採用され、一般的な工法よりもコストが高くなるが、やむを得ない。

**問** 7年と8年の工事金額の差額が約1億2千万円あるが説明を求める。  
**答** 8年は工事の距離が長くなっている。

**問** 今さらではあるが、これだけのコストに見合う事業なのか再検討してほしい。

### 専決処分とは？

地方自治体において、本来は議会が議決すべき事項を、緊急時や議会を招集する時間的余裕がない場合に、首長（村長）が議会に代わって決定する手続きのことです。専決処分の対象となりやすい事項としては、自然災害や突発的な出来事による緊急対応、税務調査や法改正に伴う申告修正、または事業の財源不足に対する補填などが挙げられます。これらの場合、時間的制約があり迅速な対応が求められるため、専決処分が行われることがあります。後日、議会で承認決議が行われます。

議会だよりに書ききれない議会のやりとりは  
「議会インターネット中継録画映像」  
をぜひご覧ください！



議会インターネット中継録画は、新島村議会での様子を録画した映像です。透明性の向上や情報共有のため、どなたでも見ることができるよう一般公開されています。右上のQRコードを読み込んで、ぜひご覧ください。

※一部の議会内容は個人情報保護の観点から編集されることがあります。



## 東京都市町村議員研修会に参加

吉見 一之

5月7日に通称「東京都市町村議員研修会」がアジュール竹芝で開催され、新島からは9名の議員が参加しました。会場には日の出町や奥多摩町等の西東京方面、島嶼地区は大島から小笠原までの議員が一堂に会する、年に一度の大研修会です。

前半は講師を招いての公演会で、今年は「議員と住民の距離を縮めようーなり手不足から主権者教育まで」というタイトルで、拓殖大学政経学部河村和徳先生の講演を聞き議員としての知見を深め、後半は議員全員入り乱れての意見交換会（名刺交換会とも



言います」となり、タテヨコの繋がりを広げようと躍起になります。私も最初は肩身の狭い空間でしたが、3年目ともなると見た顔知った顔が増え、その方々に会えるのが楽しみにもなっています。みなさんとても熱く！真面目で！そのエネルギーにあてられくたくたになる一日でした。

の話題が上がりました。

議会からは将来の議員のなり手、議員定数の話から議員になるための勉強会をするのはどうか？ などの提案もありました。また若い女性や子育て中の女性



## 商工会青年部ランチミーティングに参加

小久保 利佳

6月13日金曜日、新島村商工会青年部からお招きいただき、新島村議会から4名の議員が参加いたしました。

商工会青年部員の近況報告で始まり、黒根の海岸で子育て中のうみねこの話、島内のトピックスや運動会、祭りについて、青年部員のほとんどが所属する消防団の話など、身近な地域の話題が上がりました。

が話せる機会や場づくりについての新島の相談も。

限られた時間のなか、持ち寄ったお弁当を食べながらざくざくらんに対話をする有意義なランチミーティングになりました。今後このような、さまざまな団体と話せる機会があれば積極的に参加したいと思っています。

## 下田訪問記 木村諭史

5月24・25日開催の「島  
じまん2025」と議長・  
副議長研修に合わせ、  
5月27・28日に神新汽船  
株式会社と下田市を訪問  
しました。「議員と一緒に  
考える会」、特に式根島会  
場での意見・提案を踏  
まえた交流の結果を報告  
いたします。

### 下田航路の意見交換

私が企画した5月27日  
の神新汽船との意見交換  
会は、利島村・神津島村の  
議長・副議長らと交えての  
開催となりました。

下田航路（乗客・貨物）  
の利活用の可能性と就航  
率等の実情と課題、下田  
と島嶼間の特別運航や経  
済交流の企画について意  
見交換をいたしました。

### 下田市での経済交流

翌5月28日の一泊滞在で  
の下田訪問は、神津島の小  
林副議長と下田市の岡崎市  
議による企画でした。ご紹介  
するミッションの合間に、  
岡崎市議による町歩きスポ  
ットと新しい取組の裏側を  
ご紹介いただきました。

#### ミッション1

### 下田市議長との昼食会

穏やかな中村議長とじつ  
くり意見交換ができました。  
下田市の地域特性・I・U  
ターン事情（地元を受け皿  
があるはずだが、若年層の  
流出が起きている）、一方  
で街中に広がる若手を中心  
にした新しい取組への期待  
と課題も伺えました。

#### ミッション2

### 経済交流会

地域の交流拠点『羽衣』  
の店主である佐藤潤さん主  
催による意見交換会に参加

しました。

裏側にペリー提督の姿が  
彫られたモヤイ像の設置担  
当者をはじめ、カジキ釣り  
でも当村にも頻繁に訪れる  
商工会議所副会頭の渡邊氏  
ほか、多くの方と意見交換  
できました。また下田のホ  
テルの支配人からも島フェ  
アの開催について提案資料  
をいただきました。

#### ミッション3

### 下田市観光協会での 打ち合わせ

港を介した下田の活性化  
の可能性について話し合  
い、下田と当村でも互いの  
観光パンフレットを配布で  
きるよう手配いたしました。  
また、にしき下田ツア  
ーで配布するための割引ク  
ーポン付き下田マップをい  
ただきました。

#### 番外編

### にしき下田ツアーに繋げて

昨年の議員視察でお世話  
になった青木ガイドとも再  
会し、にしき下田ツアー当  
日も下田公園周辺で開催中  
の『あじさいジオ散歩』を  
ご紹介いただき、にしきツ  
アー当日も特別対応を企画  
してくださいました。

下田から学んだことを島  
に活かして、下田に発信し  
て誘客するような関係性も  
育てていきたいと思いま  
す。（次ページ参照）



▲銘板が再度取り付けられた友好のモヤイ像  
写真提供：藤井智久（神津島在住）



◀伊豆下田経済新聞に掲載さ  
れた、にしき下田ツアーの様子

にしき到着の歓迎挨拶後  
には中村議長・岡崎議員・  
佐藤潤さんを交えて、下田  
公園であじさいを眺めなが  
ら、新島ガラス・島焼酎・  
下田の柑橘による試作ドリ  
ンク片手に、婚活・交流事  
業の意見交換も行いました。  
『つながる下田』として打  
ち出していますが、島と繋  
がることで下田の価値が高  
まることもお互いに実感で  
きた一日となりました。

# 未来につながる議員活動・議会活動を！

今回は山積する地域課題に対して、対応方法・データ・条文などを私の着眼点でお伝えしたいと思います。

今夏の船便対応や、人口減少下での観光振興の方向性について考えてみます。

ジェット船の増発対応がない

増発便1便あたりの人数を計算すると、10年ほど前のデータで80人ほど、昨今のデータで60人ほどの降客があります。

大型船の運休日がある

昨年のデータから、夏期の大型船1便ごとの降客は100人程となります。

今夏予想と今後の取組

観光関係者によれば、今夏は2割ほどの観光客減の可能性があるとのことでした。船便がボトルネックとした場合、増便なしが20～30日、大型船の運休が5日とする、二千人近い客数減となる試算です。

それを踏まえて、交通・

宿・飲食を含む島内各種サービスのないずれにも無理なく取り組める策として、以下の3つを挙げてみます。

## ① 航路を活用する！

余裕のある交通手段（下田航路）で観光客を確保する。

## ② ピークを平たく！

船便減少にめげない来島客確保として、平日の集客を促進し、学校単位での教育旅行、自治体交流、家族単位の旅行誘致や『社会的な機運』をつくる。（左の図を参照）

## ③ 内部の観光を増やす！

データを整理すると、

① 連絡船にしき利用のピークは本土からの降客とずれており、帰省客や島民の利用が多い。

② 通常利用客を差し引くと、新島から式根島へ観光に訪れる人が多く居ることが推察される。

小笠原村では、観光需要と重ならない条件で、交流・レジャー・静養を目的に母島航路を村民が無料利用できるレインボーパスを発行しようです。

にしきによる島間観光の可能性も十分考えられます。

テラス入居条件が議会審議を契機に改善

前号に掲載しましたが、新島村移住定住促進住宅設置及び管理に関する条例第5条の『過去又は現在、新島村に住民登録をした者でないこと』という制限に対して、私は将来の移住者の目玉となる、親の転勤で在島した児童や親子留学・島留学の生徒に厳しすぎると質問しました。

行政内で検討してもらった結果、施行規則の別表に『転勤等、親の仕事等の事情により、一時的に新島村に居住していた児童等』は入居資格を有するよう追加されました。長い目で人を育める村・島であってほしいと思います。



▲AI作成のイメージ。子には学び+休暇のラーケーション(学外体験のためなら年間数日の範囲で欠席扱いにならない)と、親には仕事+休暇のワーケーションを誘致できるか？



たことは？

小久保／離島留

## かたやまきあん

もりくらねん

小久保／新島の問題や離島留学の問題は  
なんだと思いますか？

希晏／Ｕターンが少ないと思います。

蓮／はじめは人との関係性が深く、情報が回るのも早しいし、気が抜けて、情報が回るのも早いし、気が抜けたのです。新島は誰もいない自

高校は寮があるけど、バイト禁止で夏休み中は島で過ごせないのが問題。バイトは学校以外の島の人と繋がるチャンスになるので。

蓮／東京諸島の知名度の低さ。都民ですら知らないし、都民以外はもっと知らないです。発信も大事だけど、地域の特徴づくりや特産品が必要だと思います。

小久保／卒業後の新島村との関わり方を考えていますか？

希晏／もちろん遊びに来るし、周りの人に新島をアピールします。きっといつか新島に住みたくなると思います。

蓮／何度も遊びに来て、友達を案内した



森倉 蓮(もりくら れん)  
写真右

東京都狛江市出身。特別な高校生活に憧れ、冒険心から新島高校へ。中学校で配布された東京都の離島留学制度のプリントで初めて新島を知った。

編  
集  
後  
記

(笑)

富田 浩章